

2017年11月1日

トッパン・フォームズ株式会社
株式会社ジェイ エスキューブ

クレジットカードにおける国際的セキュリティ基準 「PCI DSS」に BPO 主要拠点が準拠

～ クレジットカード情報非保持化と業務負荷・運用管理コスト低減を支援 ～

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下トッパンフォームズ）およびそのグループ会社で機器販売・保守や BPO サービス、総合人材サービスを展開する株式会社ジェイ エスキューブ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池内秀行、以下ジェイエスキューブ）は、BPO 主要拠点であるトッパンフォームズの日野センターとジェイエスキューブの新宿センターを、クレジットカードの国際的セキュリティ基準「PCI DSS」*に準拠させることを発表いたします。PCI DSS 基準に準拠した環境構築は 2018 年 3 月に完了する予定です。

日野センターおよび新宿センターでは、PCI DSS 準拠した専用エリアを新たに構築することにより、高セキュリティな PCI DSS 準拠の専用エリアでクレジットカード番号が記載された帳票（原票）からのデータ入力・電子化などの一連の処理が可能になります。これにより加盟店におけるクレジットカード情報の非保持化と業務負荷の軽減、運用管理コストの低減を支援していきます。また両社センターが PCI DSS に準拠することにより、業務量に応じた拠点間の分散処理や不測の事態が発生した際の BCP 対応などが可能になります。



PCI DSS 準拠の専用エリアを構築する日野センター

【背景】

クレジットカード業界における国際的な潮流として、国際ブランド主導でセキュリティの強化が推進されています。日本国内でもセキュリティ強化として、カード情報の保護の面では加盟店のカード情報非保持化や保持する加盟店への PCI DSS 準拠の義務化、カード偽造防止対策としてクレジットカードおよび決済端末の IC 対応化がそれぞれ進められています。このような状況下で加盟店は対応を検討していますが、自社での対応に当たり、業務負荷やコストの面に課題を抱えています。トッパンフォームズならびにジェイエスキューブでは、両社の BPO 主要拠点到 PCI DSS 準拠の環境を設け、カード情報を含む業務の受託をすることで、加盟店の国際的なセキュリティ基準への対応を支援してまいります。

【今後の展開】

トッパンフォームズならびにジェイエスキューブでは、PCI DSS に準拠する高度な情報セキュリティ体制を基盤とした安全かつ高品質な BPO サービスの提供により、決済代行業者や公共料金やクレジットカード払いのサービスを提供する加盟店を中心とした新規需要の取り込みに注力し、100 社の採用を目指します。

また既に受託しているクレジットカード番号を取り扱う業務の運用についても PCI DSS に準拠した環境へと移行し、高いセキュリティ環境での運用を続けてまいります。

以上

* PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) とは、国際クレジットカードブランド 5 社が共同で策定したクレジットカード番号の安全管理のためのグローバルセキュリティ基準です。

※ 「デジタルハイブリッド」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

※ その他記載された製品名などは、各社の登録商標あるいは商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 経営企画本部広報部 TEL:03-6253-5730

【参考情報】

■株式会社ジェイ エスキューブについて

社 名：株式会社ジェイ エスキューブ

本社所在地：東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 5F

設 立：2007年7月2日

代 表 者：代表取締役社長 池内 秀行

事 業 内 容：1.ドキュメントソリューション

- ・ECM ソリューション、IT ソリューションのコンサルティングおよび販売
- ・BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）による事務処理受託請負業務
- ・各種データエントリーサービス
- ・総合人材サービス（労働者派遣事業および有料職業紹介事業）

2.情報機器

(1) 商品事業

- ・メーリング関連機器・オフィス機器販売
- ・特殊機器の開発と販売
- ・セキュリティ商品・環境エネルギー商品販売
- ・各種サプライ品販売

(2) 保守事業

- ・自社ブランド製品およびマルチベンダー保守
- ・キッティング・オーバーホール・出荷検査
- ・機器設置・施工

U R L：<http://www.j-scube.com/>